匈日本國特許庁(JP)

印度用新案出顧公開

図 公開実用新案公報(U)

平2-52150

Wint. Cl. 3

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)4月13日

G 01 N 27/12

G 6843-2G

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

❷考案の名称 湿度センサ

②実 顕 昭63-131298

❷出 顧 昭63(1988)10月5日

山形県長井市幸町1番1号 マルコン電子株式会社内 行 寒 者 丧 檎 信 木 山形県長井市幸町1番1号 マルコン電子株式会社内 案 審 ĊĖ 苯 逋 山形県長井市幸町1番1号 マルコン電子株式会社内 案 須 逐 貞 明 100考 奢 東京都板橋区大原町41番12号 カイト化学工業株式会社内 個考 案 君 杏 木 銋 憲 山形県長井市学町1番1号 の祁 W マルコン電子株式会社

砂実用豪楽登録結束の範囲

- (1) 表裏両面に電極を形成した板状の感湿素子と、モールド樹脂からなる台座を介してそれぞれ対向方向に突出した一方側を一対の断面U字形素子支持部とし、他方側を横断面が少なくとも一つの山がり構造となる一対のリードピン部としたステムを具備し、前記一対の断面U字形案子支持部に前記感湿素子を挟持し、前記電優と前記素子支持部を電気的に接続したことを特徴とする湿度センサ。
- (2) 請求項(1)記載の提度センサを、内面に嵌合部を設け内外面に連なる少なくとも1本以上のスリット状質通孔からなり、かつこの質通孔に対向した内面側に障壁を設けた機割2分割終込み形外装ケース一対間に収納したことを特徴とする湿度センサ。

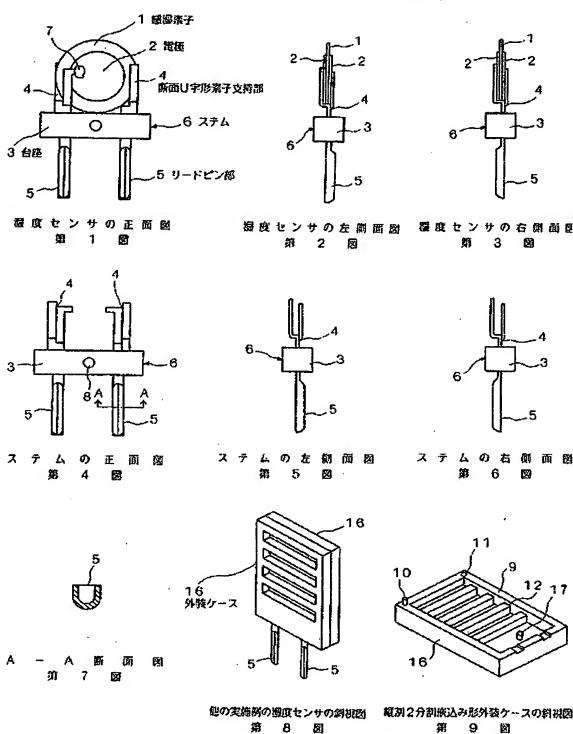
図面の簡単な説明

第1図〜第7図は本考案の一実施例に係り、第 1図〜第3図は湿度センサを示し、第1図は正面 図、第2図は左側面図、第3図は右側面図、第4 図〜第6図は第1図〜第3図に示す湿度センサを 構成するステムに係り、第4図は正面図、第5図

は左側面図、第6図は右側面図、第7図は第4図 A-A断面図、第8図~第10図は本考案の他の 実施例に係り、第8図は湿度センサを示す斜視 図、第9図は第8図を構成する緩割2分割嵌込み 形外装ケースを示す斜視図、第10図は第9図に 示す外装ケース一対を嵌込んだ状態を示す断面 図、第11図及び第12図は本号案に係るステム を構成するリードピンそれぞれの他の爽施例を示 す横断面図、第13図は本考案の他の実施例に係 る縦割2分割嵌込み形外装ケース一対を嵌込んだ 状態を示す断面図、第14~第16図は従来例に 係り、第14図は湿度センサを示す正断面図、第 15図は第14図に示す湿度センサを構成する紊 子支持体を示す側面図、第18図は第14図に示 す湿度センサを構成するケースを示す一部切欠断 面図である。

1……感湿素子、2……電極、3……台座、4 ……断面U字形素子支持部、5……リードピン 部、6……ステム、14……スリツト状質通孔、 15……健壁、16……縦割2分割嵌込み形外装 ケース。

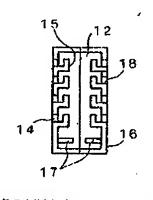
実開 平2-52150(2)



15 降壁

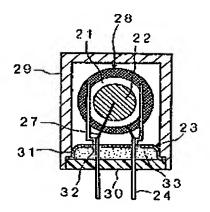


他の突旋例のリードピン部の機筋面圏 外核ケース一対を嵌込んだ状態の筋面圏 第 12 圏 第 10 図

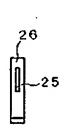


スリット状質通孔 14

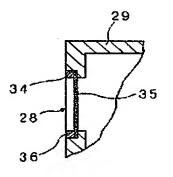
他の実施例の外数ケースー対を 嵌込んだ状態の新而図 第 13 図



14 🔯



第 15 図



第 16 図